### 量子ビームを用いたソフトインターフェースの 分子鎖凝集状態評価

### Analyses of Molecular Aggregation States of Soft Interfaces Utilizing Quantum Beam



### 九州大学・先導物質化学研究所 JST/ERATO ソフト界面プロジェクト 高原 淳



Takahara Soft Interfaces

takahara@cstf.kyushu-u.ac.jp http://takahara.ifoc.kyushu-u.ac.jp

- 1. はじめに
- フルオロアルキルアクリ レート系高分子の表面分
   子鎖凝集状態の GIWAXDによる解析
- ポリ(フルオロアルキルア クリレート)ブラシの超臨 界二酸化炭素中での膨 潤挙動(NR)
- 高分子電解質ブラシの水
  界面での分子鎖凝集状
  態評価(NR)

ソフトインターフェースの構造 と物性の関係





#### 1. はじめに

#### ソフトインターフェースとは? ソフトマター (プラスチック、ゴム、ゲル、液晶、生体膜など)を形成する界面

- †固体金属やセラミクスの場合、
  - 界面の分子運動は"室温"で凍結

#### † ソフトインターフェースは、

- •有限の厚み(広がり)を有する
- •動的な特性を有する(様々な階層の分子運動)
- •界面が様々な機能を持つ(能動的)
- •階層構造による高次機能
- •多様な環境下で機能を発揮(空気、水など)





ソフトインターフェースはその複雑さ故、基礎科学が確立されていない.

- ・化学的に精密に設計された表面の欠如
- ・様々な環境における構造や物性、特に動的特性の評価法の未確立

1945年にノーベル物理学賞を受賞し、パウリの原理で有名なパウリは、「固体は神が作りたもうたが、表面は悪魔が作った」と述べている。しかし、表面・界面の有する特異的な性質が、現代社会で重要な様々な機能デバイスの物性を支配している。

### どのようなところでソフトインターフェースは活躍しているのか



濡れ性制御・汚れ防止



摩擦·摩耗



接着·粘着·剥離



コンタクトレンズ ステント・ガイドワイヤー

Contraction of the second distribution of the second second second second second second second second second se





バイオセンサ

フレキシブル電子回路

生体材料、精密電子機器、センサー、自動車など最先端の分野で界面の特性が機能物性を 制御している

# 2. フルオロアルキルアクリレート系高分子の表面分子鎖凝集状態のGIWAXDによる解析







### GIWAXD

#### In-plane GIWAXD

#### Out-of-plane GIWAXD

Diffracted lattice plane

Incident X-ray



・膜面に垂直方向の周期性

#### ・膜面に平行方向の周期性 (平行に配列したラメラ構造の周期).

Diffracted X-ray

2θ

#### GIXD BL-13XU、BL-40B2 at SPring-8

- q: Scattering vector ( $=4\pi \sin\theta/\lambda$ ) /nm<sup>-1</sup>
- $\theta$ ; Bragg angle/°,  $\lambda$ : Wavelength of incident X-ray/nm



Detector



### PFA-C<sub>8</sub>の表面分子鎖凝集構造



### ナノインプリントによるPFA-C8への表面微細構造形成

 $5 \,\mu\text{m}$ 

5,000x 2.00 µm WD:14.0mm 5kV 2007/02/20 19:18:56 S

Soft Matter, 4 (2008).



なぜ室温でインプリントできるか 結晶性であるが平滑な薄膜 長鎖フルオロアルキル基の結晶内での弱い分子間相互作用

### GIWAXD at SPring-8 BL40B2

高度に配向したFA基





FA基間の分子間力が 弱いので変形可能





#### 里芋の葉のように超撥水性を示す表面を作る (ナノインプリントを繰り返し、蓮の葉様の構造を形成する)



### 撥水性材料を利用した液体ビー玉

撥水性の材料の表面では水滴が丸くなる。 水を撥水性の物質で覆うとどうなるか?

生物ではアブラムシの一種が樹液を摂取し、排 泄物として分泌する甘露を撥水性の物質で覆い ビー玉状にして、自分自身が甘露に捉えられな いようにしている。

→液体の梱包、輸送、ミクロ反応容器としての利 用

 $\gamma_{SV} = 7.43 \text{mN m}^{-1}$ (CH<sub>2</sub>,CH) Hydrophobic grains =O water  $(CH_2)_2$  $(CF_2)_{7-}$ 

substrate



CF<sub>3</sub>

液体ビー玉の特徴的な振る舞い-水面に浮く水滴



浮く (表面が水をはじくとき)

Hydrophobic grains

water

ERATO



水面上に浮く水のビー玉

Contraction of the second s

### 磁石で動く液体ビー玉ー磁性イオン性液体の利用

通常「塩」は食塩のように常温下では固体だが、塩を構成するイ オンを比較的サイズの大きなある種の有機イオンに置換した場 合、融点が低くなり、室温付近でも液体状態で存在するようにな ることがある。これをイオン液体と呼ぶ。その中でも磁性を示す ものを磁性イオン液体と呼ぶ





### 3. ポリ(フルオロアルキルアクリレート)ブラシの表面構造と超臨界二酸化 炭素中での膨潤挙動(Stony Brook大 古賀忠典先生との共同研究) Surface-initiated ATRP of FA-C<sub>8</sub>





Diffraction peak of  $q_{xy} = 12.6 \text{ nm}^{-1}$  in In-plane GIWAXD is attributed to ordering of Rf groups along perpendicular direction to the substrate.

Thicker brush (thickness > 40 nm) showed diffraction in Out-of-plane GIWAXD profile originatedKyu:from Lamella structure.Kyu:H. Yamaguchi et al. , Polym. J., 40, 854-860(2008).

ومنطوع ومراقعة الأرباق وخراري ويقاده

#### Molecular Aggregation Structure of PFA-C<sub>8</sub> Brush Thin Film









### High Pressure Neutron Reflectivity (NR)

~Ideal tool to determine the in-situ film quality under compressed gases ~



## **Neutron Reflectivity**

NG7 Neutron Reflection Spectrometer @ National Institute of Standards and Technology (NIST)



### Data analysis for density profiles



### Alternative measures of solvent quality



was significantly improved above 10MPa.

4. ポリマーブラシを用いた表面化学組成制御による材料表面の超親水化



親水性ポリマーブラシの調製と特性解析 モノマー 1および MPCの表面開始重合方法 アルゴンガス 1 / CuBr / Sparteine Linear anisole / 65 °C Polymer **MPC** / CuBr / Me<sub>2</sub>bpy MeOH / 25 °C Polymer 基板とフリー開始剤の両方から **Brush** 同時にポリマーが生長 Br Characterization OEt Br H<sub>3</sub>C-C-CH<sub>3</sub> Linear Polymer : NMR, SEC, IR, DSC **Free Initiator** C=O (Sacrificial Initiator) Polymer Brush : IR, AFM, XPS, NR  $(\dot{C}H_2)_6$ Graft density  $CH_3$  $CH_3$  $\sigma = 0.22$  chains/nm<sup>2</sup>  $(CH_2 - \dot{C} -)_n Br$ CH<sub>2</sub>-C-Initiator-COOCH<sub>2</sub> CH CH<sub>2</sub> immobilized Si -COOCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-OPO<sub>3</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>N(CH<sub>3</sub>)<sub>3</sub> wafer PMPC PDMM





双性イオン高分子で超親水性が実現できる

Water thin layer act as anti-stain surface that resembles the characteristics of a snail shell

#### 中性子反射率測定 (ARISA@KENS 鳥飼准教授との共同研究) スリット 検出器 入射中性子ビーム 反射中性子ビーム 石英基板 θ \$22772 &2 27777 272757275 27873 S1 DS S2 テフロン容器 888 ポリマーブラシ 波長 = 0.12~0.60 nm (角度分解能 = 5.0%) 重水 000 照射面積(試料上の長さ) = 55 mm カウンター 入射角 = 0.3°のときS1=0.68 mm, S2=0.14 mm, DS=10 mm 入射角 = 0.6°のときS1=1.33 mm, S2=0.27 mm, DS=10 mm Parratt理論によるフィッティング曲線 散乱長密度分布を仮定 反射率曲線 $10^{0}$ 石英/重水 10<sup>-4</sup> nm<sup>-2</sup> 6.0 Parratt32 石英/重水 10 10 ′重水 石英+ブ 中性子反射率 10<sup>-2</sup> 10<sup>-3</sup> 中性子反射率 石英+ブラシン重水 $10^{-2}$ フィッティングパもメータ 散乱長密度 / 5.0 重水・石英の散乱長密度(固定) 10<sup>-3</sup> $10^{-3}$ ・ポリマーの散乱長密度 $10^{-4}$ 10 ・ブラシ膜厚 40 ・界面の粗さ 10<sup>-5</sup> 10 40 60 20 表面からの距離/nm 0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.6 0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.6 *q* / nm<sup>-1</sup> $q / nm^{-1}$ 重合度の分布 ベストフィットが得 $4\pi$ られるようパラメー $\sin\theta$ x = 10タを微調整 $- \bigcirc - \bigcirc x = 8$ Mw/Mn=1.05の場合 実際の系はこれよりも分子の長鎖の分布が大きい



### PMPCブラシの乾燥状態および溶液中の膜厚 原子間力顕微鏡(AFM)による断面観察



#### PMETA ブラシ/NaCl 水溶液界面での中性子反射率測定



塩濃度が高くなると分子鎖ブラシが収縮 1.静電的遮蔽、2. 貧溶媒化

Kyushu University

### PMETA-CIブラシの乾燥状態および溶液中の膜厚 原子間力顕微鏡(AFM)による断面観察



and the second second state and the second second

### *Neutron Reflectivity from PDMAPS* Brush/D<sub>2</sub>O Interface





### Cononsolvency領域でのPMPCの挙動

エタノール

一般的な高分子

- 高分子は自分自身と似た性質 の溶媒には良く溶ける。
- ➡ ある高分子が溶媒Aに溶け、溶 媒Bにも溶けるなら、AとBの混 合液にも溶ける

特殊な高分子

- ◆ 純溶媒Aにも純溶媒Bにも溶け るがAとBの混合液には溶けな い(相分離)。
- ▶「Cononsolvencyを持つ」高分子 と言う

PMPCは水 (H<sub>2</sub>O)とエタ ノール (EtOH) に対して cononsolvencyを示す。

Y. Matsuda, M. Kobayashi, K. Ishihara, M. Annaka, A. Takahara, UCST-Type Cononsolvency Behavior of a Zwitter Ionic Polymer in the Mixture of Water and Ethanol, Polym. J., 40, 479-483 (2008).



### PMPCブラシのCononsolvency溶媒界面における中性子反射率測定



ana di kana ang kata ng <mark>Pang</mark>i kata kana sa kata ng kat

### Swelling Behavior: AFM Images of PMPC Brush in Air and Aqueous Solutions



### まとめ

- フルオロアルキルアクリレート系高分子の表面分子鎖凝集状態のGIWAXDによる解析とその特異的な表面特性
  →ナノインプリントと濡れ、液体ビー玉
- NRを用いたポリ(フルオロアルキルアクリレート)ブラシの超臨
  界二酸化炭素中での膨潤挙動
  →超臨界状態での良溶媒化
- 3. NRによる高分子電解質ブラシの水界面での分子鎖凝集状態 評価

→分子鎖コンフォメーションの溶媒、塩濃度依存性

